

第2学年 生活

第2学年の学習到達目標

- (1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、それらに愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。
- (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。

第2学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	ともだちいっぱいなかよくしようね ともだちいっぱいなかよくしようね	●進級した喜びと自覚をもつ。	○進級を喜び、新入生を迎える。
	レッツゴー！町たんけん さあ、さくせんかいぎだ！ 町をたんけんしよう はっけんしたこと、おしらせします！ おいしいの気もちをとどけよう	●計画を立て、グループで安全に行動できる。 ●季節を楽しむ感性を身につける。 ●町の人々や自然、公共施設に積極的にかかわる。 ●場に応じたマナーを身につける。	○町探検の計画・準備をし、出かける。 ○町の人と話し、聞き、記録する。 ○いろいろな方法で、発表したり、お礼の気持ちを届けたりする。
	ぐんぐんのびろ げんきにそだて	●期待をもって花や野菜を育て通す。 ●生き物に親しみ、命あるものへの接し方を知る。	○花や野菜を植え、意欲的に育て収穫する。 ○生き物を採集し、育て方を調べ、飼育する。
	わくわく夏休み やってみよう！	●夏休みを意欲的に元気に過ごし、地域の人たちとの交流をはかる。 ●自分なりに工夫しておもちゃを作る。	○夏休みの計画を立てる。(話し合い、製作など) ○おもちゃを作って遊ぶ。
	げんきだったよ みんなとあうのひさしぶりだね ぐんぐんのびろ	●友達の夏休みの作品のよさに気がつく。 ●秋の種まきや苗を植える。	○夏休みに取り組んだことを発表する。 ○野菜を植え、意欲的に育て収穫する。
後期	もっと知りたいな町のこと 地いきあんぜんマップを作ろう 秋の町を見てきたよ のりものによって出かけよう	●計画を立て、グループで行動できる。 ●危険回避能力を身につける。 ●季節と事象の変化に気付く。 ●町の自然や人々とかかわり、町を見つめなおす。 ●乗り物や駅の安全で正しい利用の仕方を考える。	○地域に出かけ、安全な場所、危険な場所などを調べ、安全マップを作成する。 ○秋の町探検に出かけ、秋の事象を探したり、町の人々とかかわりをさらに深めたりしていく。 ○乗り物の乗り方や駅の利用の仕方を考えて、計画を立てる。
	もうすぐ冬休み ぐんぐんのびろ	●冬休みを意欲的に元気に過ごし、地域との交流をはかる。 ●育てた野菜の収穫を喜ぶ。	○冬休みの計画を立てる。(話し合いなど) ○秋野菜を収穫し、食べる。 ○秋まきの花や野菜を植える。
	こんなすてきな町なんだ 冬の町に出かけよう わたしは町はかせ	●計画を立て、グループに安全に行動し、季節と事象の変化に気付く。 ●町を見つめなおし、自分なりにまとめ、発表できる。	○冬の町探検に出かけ、冬の事象を探し、町や人々とかかわりを深める。 ○1年間かかわってきた町を振り返り、まとめ、発表する。

<p>みんな大きくなったね 小さかったんだね こんなに大きくなったよ じぶんのものがたりをまとめよう しんきゅうだよ、うれしいね</p>	<p>●成長を実感し、今の自分に自信をもつ。 ●友達の成長もわかり、互いに喜び合う。 ●成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつ。 ●自信と意欲をもって進級する。</p>	<p>○成長を振り返り、現在の自分を確認する。 ○できるようになったことを発表しあう。 ○自分の成長の物語をまとめる。 ○今までにお世話になった人に対してお礼の気持ちを伝える。 ○進級への抱負を発表し合う。</p>
---	---	---

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【生活への関心・意欲・態度】 身近な人、社会、自然及び自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習したり、意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。</p> <p>【活動や体験についての思考・表現】 調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。</p> <p>【身近な環境や自分についての気付き】 具体的な活動や体験をしながら、学校や家庭及び自然や動植物、自分の成長などの様子に気付いている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>生活科では、長期的な見通しに立ち、継続的に子どもの変容を見ます。また、行動の観察・発言や作品の分析・自己評価などを手がかりに、子どものよい点や進歩の状況などを評価します。</p> <p>① 生活への関心・意欲・態度については、身近な環境や自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習や生活をしようとしているかどうか実践的な態度を見ます。</p> <p>② 活動や体験についての思考・表現については、具体的な活動や体験を通して学習し、その活動の中でいろいろ考えたり、工夫したりして、よりよいものを求めていく姿を大切に評価します。また、その子なりのすなおな表現がなされているか、そのための技能はどうかなどを見ます。</p> <p>③ 身近な環境や自分についての気付きについては、自分から主体的に環境とかかわり、その中で気付き、わかることを大切にしていきます。</p>
--	--

特色ある学習方法

<p>(1) 生活科の学習の特質</p> <p>① 児童の身近な生活圏を活動や体験の場や対象にします。</p> <p>② 人、社会、自然を一体的に扱います。 人、社会、自然は本来一体的に存在しており、児童はそれらを一体的に感じ取る傾向が強く、大人のように客観的に区別して理解しているのではないからです。</p> <p>③ 児童が自らの思いや願いを実現していく過程を重視します。</p> <p>④ 身近な人々、社会及び自然についての気付きとともに、そうした気付きをする自分自身の成長にも気付くことができるようになることを重視します。</p> <p>⑤ 生活上必要な習慣や技能を身に付けることを求めています。</p> <p>(2) 1・2年生合同で学習する時があります。(学校案内・生き物広場など)</p> <p>(3) 見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして直接働きかける学習活動をします。また、そうした活動の楽しさやそこで気付いたことを言葉、絵、動作、劇化、などによって表現していきます。</p> <p>(4) 矢野の町探検をし、人々とかかわりを大切にしていきます。また、四季を通して自然とかかわれることができるようにします。</p>
--

使用教材等

<p>○ 教科書「いきいきせいかつ 下」(啓林館)</p>

留意事項

<p>(1) 生活科は、学習の対象や場が子どもの生活圏であり、学習によっては直接保護者の皆様がかかわってくる内容や、家庭で実践することが含まれる内容もあり、家庭の協力をいただくことが多い教科です。その都度、学年だより等でお知らせしますのでご協力をお願いします。</p> <p>(2) 学校から子ども達の活動の様子をお知らせすることはもちろんですが、ぜひご家庭での生活の様子もお知らせください。</p>
--